



「森林環境譲与税」でできること



2019年度からスタートした、「森林環境譲与税」の取り組み

大阪府域の30%は森林です

大阪府の森林面積は約55,000ヘクタール。府域全体の約30%を占めています。北摂、金剛生駒、和泉葛城の3つの山系が、大阪平野を取り巻いており、都心から近い距離に森林が広がっています。森林の約90%は私有林で、国有林・公有林は合わせて10%程度です

大阪府の森林の中でも河内長野市や千早赤阪村などの南河内地域・泉州東部地区に広がる約12,000ヘクタールの山々では、約300年前から吉野林業の流れを汲んだスギ・ヒノキの人工林の育成が行われています。この一帯は「河内林業地」と呼ばれ、その森林からは木目や色が美しく、強度や耐久性にも優れた良材が今も産出され、ブランド展開もされています。また、河内長野市や千早赤阪村にある施設を通して、ブランド材を使った製品販売や木工体験のワークショップやイベント開催、自由に木工のできる教室の設置など、森林を身近に感じることができる活動が行われています

大阪府域に生育するスギ・ヒノキの約60%は植栽後、50年以上経過しており、標準的な伐採時期を迎えています

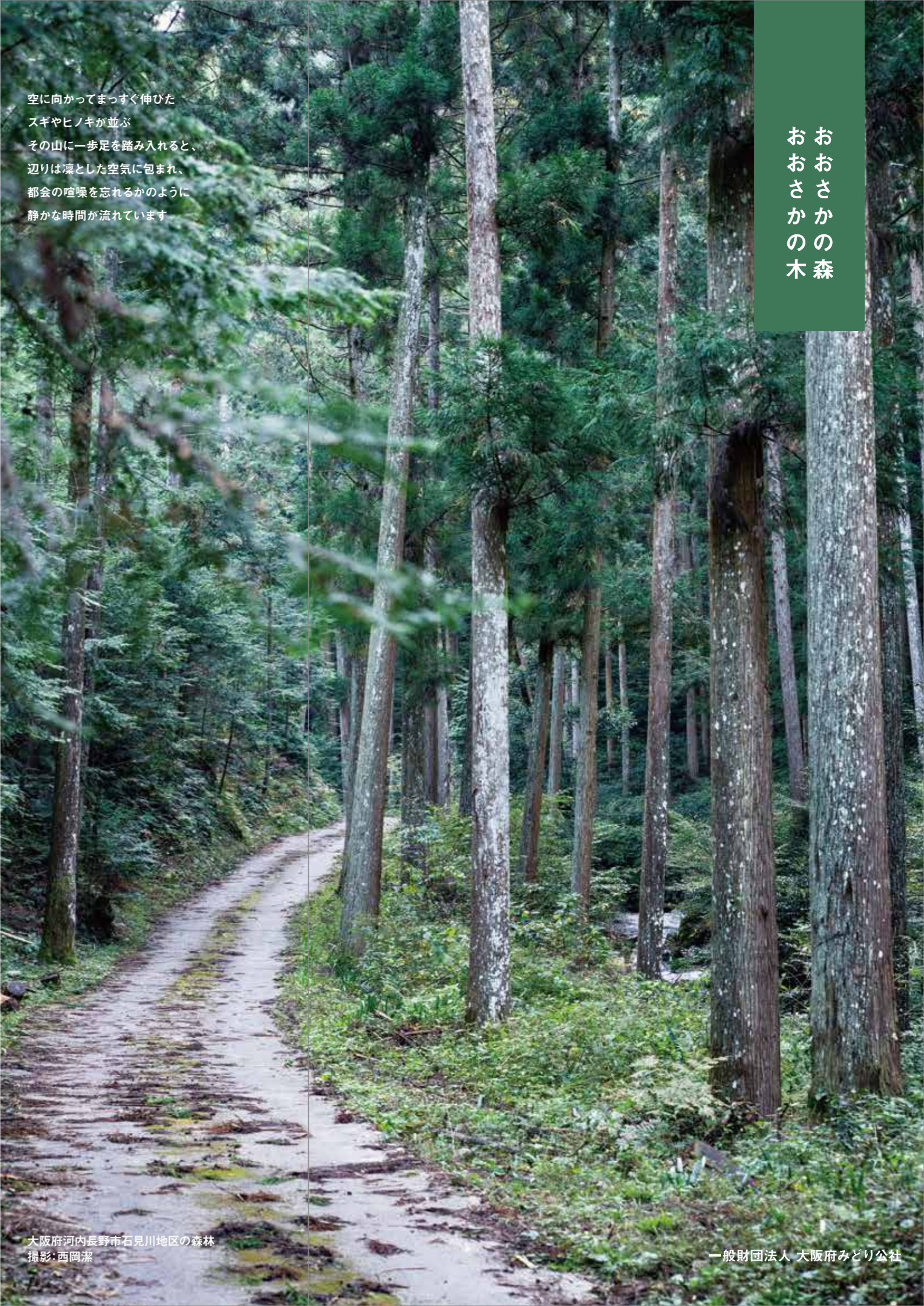
資料：大阪府[2018.3]



豊かな森林を次世代につなぐ

大阪府河内長野市石見川地区のとある森林。所有者の奥野壽一さんは、18歳の時に突然山の管理を引き継ぐことになる。「当時、私は山のことは全くわからず、単身で奈良県の林業家のもとを訪ね、一から山の仕事を学びました」と語る奥野さん。「育った木は必要な分だけ間引くように伐って市場に出します。空いたところに低木や草類が生えることで、山が崩れるのを防いでくれるからです。江戸時代から代々受け継いできたこの山を大切に守り、その次の世代につなげていきたい」と今、奥野さんは息子さんと2人で山の管理を続けています

お問い合わせ
一般財団法人 大阪府みどり公社
 森林整備・木材利用促進支援センター
 〒541-0054
 大阪府中央区南本町2-1-8 創建本町ビル5階
 Tel: 06-6563-7321
 E-mail: shien@osaka-midori.jp
 発行：大阪府／一般財団法人 大阪府みどり公社
 デザイン・編集：graf



空に向かってまっすぐ伸びた
 スギやヒノキが並ぶ
 その山に一歩足を踏み入ると、
 辺りは凜とした空気に包まれ、
 都会の喧噪を忘れるかのように
 静かな時間が流れています

おおさかの森

大阪府河内長野市石見川地区の森林
 撮影：西岡潔

一般財団法人 大阪府みどり公社

木材利用

木材を使い森林のサイクルを継続!

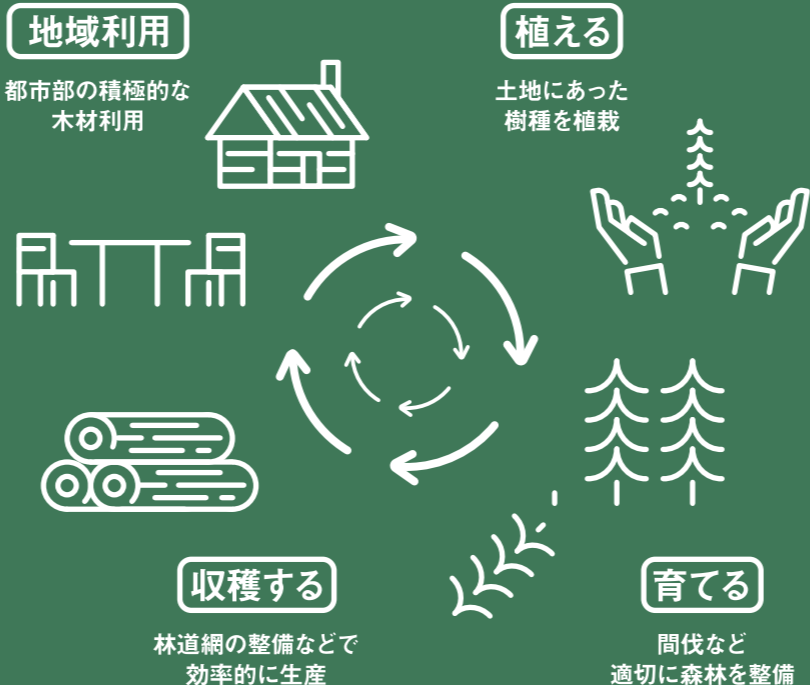
森林環境譲与税を使用し、学校、子育て施設、文化施設、福祉施設等の公共施設の木造化、内装の木質化(フローリング、腰壁など)を行うことができます



1. 千里リハビリテーション病院 アネックス棟(外観) 2. 大阪木材会館(トイレ)
3. 上野芝陽だまり保育園分園ありんこ(保育室) 4. 千里リハビリテーション病院 アネックス棟(2階ラウンジ)
5. 労住まきのハイツ集会所「集」(集会室) 6. 大阪木材会館(2階室内)

森林のサイクル

森林の多面的な機能が発揮



森林の機能1

土壌保全・土砂災害防止

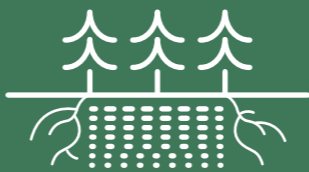
森は、地中にはりめぐらされた樹木の根によって、土壌を斜面につなぎ止める能力を持っています。また、土壌の表面をカバーする落葉や落枝、かん木、下草等によって降雨などによる土壌の流出を抑え、土砂崩れなどの土砂災害の未然防止に力を発揮します



森林の機能2

地球環境保全

森は、二酸化炭素を吸収して、地球温暖化を抑えるはたらきを持っています。私たちは、暮らしの中で排出する二酸化炭素を抑制できても、「ゼロ」にすることはできません。植林や間伐を適切に行うことにより、森による二酸化炭素の吸収効果を高めることができます



森林の機能3

水源涵養

森の土壌は、有機物やさまざまな生物によってスポンジのような構造となっているため、裸地と比べて、雨水を地中に浸透させる能力が約3倍もあります。このため、雨水を充分土壌中にたくわえてゆっくりと河川に流すことができ、洪水や濁水を緩和するほか、水質を浄化するはたらきも兼ね備えています



森林の機能4

保健・レクリエーション

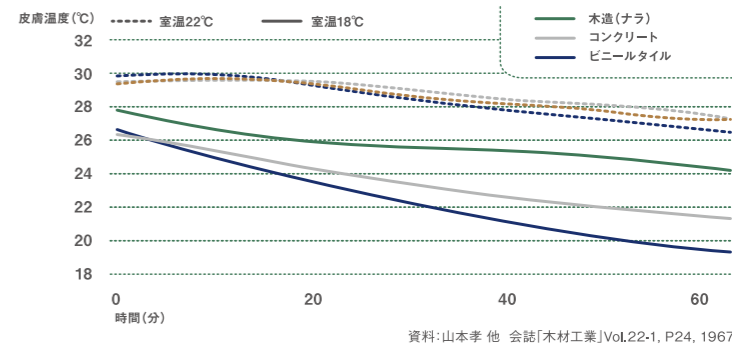
精神的あるいは肉体的ストレスを有する人にとって、森が安らぎや癒しの効果を持つ空間であること、樹木が発散する揮発性物質が健康増進に効果を発揮することなど、実証的なデータが蓄積されています。このことから、森林浴やハイキングが、気分転換や健康維持に高い効果を発揮することが期待できます

木材の
効果1

木を使えば、暖かく過ごせます!

木材は無数の細胞からなり、熱を伝えにくい空気層を含んでいるため、コンクリートやビニールタイルの床材より温度変化が少なく冷えにくい特徴があります

床材料の違いによる足の甲の温度変化

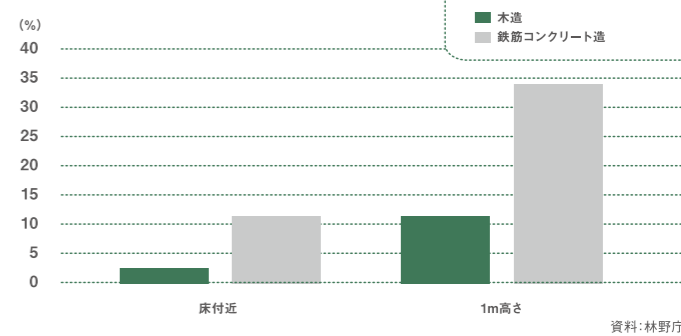


木材の
効果2

木を使えば、湿度を調節してくれます!

木材は、湿気が多い時には水分を吸収し、乾燥してくると水分を放出する働きがあります。内装に木を使うことで、常にほどよい湿度で過ごしやすい環境となります

梅雨の時期に湿度が80%以上になる時間の割合
(同一敷地内の木造会社2階と鉄筋コンクリート造校舎2階の比較)



木材の
効果3

木は、熱を伝えにくいです!

木材は、鉄やアルミニウムに比べ、熱によって強度が急激に低下することがありません。短時間では柱などの表面が燃えても、燃えた部分が炭となって(炭化層)、木の内部まで熱を伝えず、燃えてしまうことがないためです

鉄・アルミニウム・木材の加熱による強度の変化

